

別紙 2

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（令和元年度）に対する自己評価結果

都道府県名： 石川県

| ア 取組の支援についての自己評価結果 | |
|--------------------|---|
| 項目名 | 生活支援サービス等の基盤整備の推進 |
| 目標を設定するに至った現状と課題 | ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加に伴い、日常生活上の支援を必要とする高齢者が増加しており、こうした高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、多様な生活支援サービスを整備していく必要がある。 |
| 取組の実施内容、実績 | <ul style="list-style-type: none">第1回生活支援コーディネーター養成研修会（R1.9.26） 評価シートを用い、住民主体の活動を育てる支援の手法を学んだ。第2回生活支援コーディネーター養成研修会（R1.11.19） 生活支援コーディネーターの役割と実践に関して、基調説明・事例発表を通して学んだ。県地域包括ケア推進アドバイザー派遣事業（5市町に9回講師を派遣） 5市町に講師を派遣し、住民主体の地域づくり、「8050問題」への対応等を支援した。 |
| 自己評価 | R1年度に県内全19市町に生活支援コーディネーターを86人配置済みであり、R7年度までに65人を配置するという目標を達成している。 |

| イ 管内保険者の自己評価結果の概要 | |
|-------------------|---|
| | 生活支援コーディネーターの配置体制としては、人数を確保できたため、〇以上にしているところが多い。 支援の担い手の確保、移送支援の充実、コーディネーターがPDCAサイクルで取組を実行・検証できる仕組み作り等を課題にしているところがあった。 |

| ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策） | |
|----------------------------|---|
| | 上記のとおり、人員配置の目標は達成しているため、今後は人員の質の向上を図る必要がある。 引き続き県が行う研修で、支援の担い手の確保や移送支援の充実等の具体的な課題に対応できるよう支援を行っていく。 |